

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	生活行動とこころからのしくみ	担当者名	松橋 ひとみ						
授業の概要	「こころからだ」領域において、日常の生活行動を、こころからの統合された存在である人間としての観点から捉え直し、根拠に基づき「尊厳の尊重」「自立」を支援する介護方法を導き出す能力を養う。共通専門用語を理解できる。										
科目の到達目標	①こころのしくみを理解し、介護を受ける人にこころからの両面から生活場面での変化をアセスメントできる。 ②利用者の支援に必要とする介護方法について、根拠を明確にできる。 ③人体の構造と機能の点から支援の必要性を導き出し、介護について自己の考えを述べるができる。										
DPの観点	②専門知識・技能 ⑥幅広い教養 ⑩論理的思考力										
授業時間外学修(予習・復習)	こころのしくみを理解し、介護を受ける人にこころからの両面から生活場面での変化をアセスメントできる。利用者の支援に必要とする介護方法について、根拠を明確にできる。人体の構造と機能の点から支援の必要性を導き出し、介護について自己の考えを述べるができる。予習・復習を1時間程度行うこと。										
フィードバックの方法	授業担当者より期末試験の結果が返却される。										
単位認定の要件	適宜、授業内筆記試験を行い、期末レポートを求める。レポートの内容により学習成果を判断し、基準を満たすことが単位認定の要件となる。視聴覚教材を使用時には、授業内のレポート提出を求める。受講態度、提出物、レポートから総合的に判断する。										
評価の方法・割合(%)	期末レポート 70%、授業内試験 10%、授業内提出物 10%、授業内活動 10%										
履修上の注意事項	適宜、演習を実施するが、演習に臨む態度も授業内活動として評価対象とする。										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			人間のからだのしくみ脳の機能について	②	ミニッツペーパー
2			心理的、社会的側面などの視点から食事の意義を考える	⑩	ミニッツペーパー
3			食事に関連した脳の機能と消化器系との関連	⑩	ミニッツペーパー
4			消化器系疾患とこころの変化	⑥	ミニッツペーパー
5			脳の機能と食事での異常との関連	⑩	ミニッツペーパー
6			心理的、社会的側面などから排泄の意義を考える	⑩	ミニッツペーパー
7			脳の機能と排泄系統との関連	⑩	ミニッツペーパー
8			排泄機能の異常とこころの変化	⑥	ミニッツペーパー
9			清潔保持の意義、体調変化時のこころ	⑩	ミニッツペーパー
10			身じたくの意義、体調変化時のこころ	⑩	ミニッツペーパー
11			移動することの意義、自立に関する重要性	⑩	ミニッツペーパー
12			移動機能に変化があった場合のこころ	⑥	ミニッツペーパー
13			脳の機能と睡眠について、睡眠障害時のこころの変化	⑩	ミニッツペーパー
14			生活機能障害が及ぼす日常生活への影響	⑩	ミニッツペーパー
15			生活機能障害が及ぼす社会活動への影響	⑩	ミニッツペーパー
期末試験			課題レポート提出		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座14「こころからのしくみ」第3版(中央法規出版) 荘村明彦
参考文献 参考URL	「よくわかる生理学の基本としくみ」(秀和システム) 當瀬規嗣
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働能力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--